

乍恐口上之覺

一 伯耆国米子より雲州雲津

浦迄之道法、米子より濱ノ目

境村迄陸四里半、出雲国宇

井浦^江五丁計之船渡り御座候

夫より同国三保之関^江式里、三

保之関より雲津^江之陸路壱

里、都合七里半五町

一 米子より雲津迄船路九里

一 元禄五壬申年村川市兵衛

大谷九右衛門竹嶋^江相渡シ申候船

式百石計積申候船壱艘遣シ

申候、船頭水主式拾壱人、鉄

炮五挺遣シ申候、尤其節居

申候唐人三拾人計^与見得申候

一 元禄六癸酉歳之渡海船壱

艘、船頭水主式拾壱人、鉄炮

五挺持参仕候、其節之唐人

之数大勢^与計ひかへ書^ニ御座候

前々船式艘遣候節ハ鉄炮八九

挺も遣し申候、弓^者遣候儀ハ

無御座候

一 戌亥両年渡海仕候節船頭

水主船数鉄炮数同前^ニ遣シ申候

一 竹嶋^ニ居申候朝鮮人^ニ年々^ニ

増亥之年^者杯^{所々}^ニ五拾人

三拾人ほとつゝ大勢罷有候由^ニ

御座候 伯州米子町人

大谷九右衛門

享保九年辰五月十日

伯州米子町人

村川市兵衛